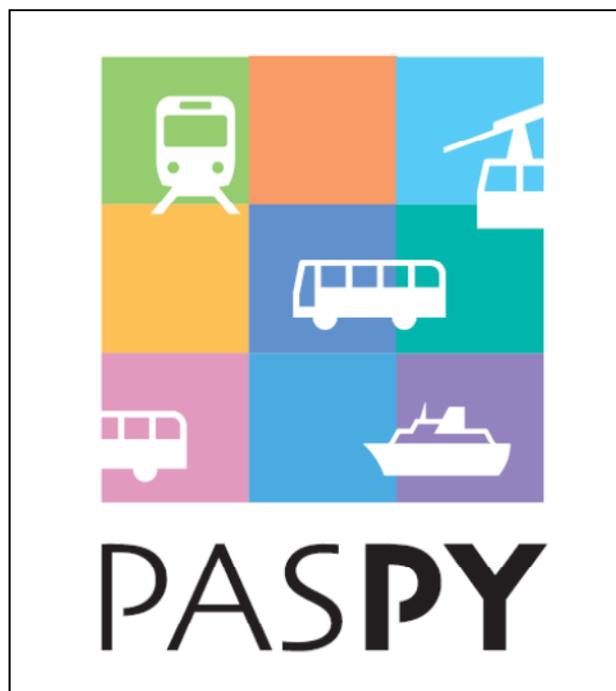


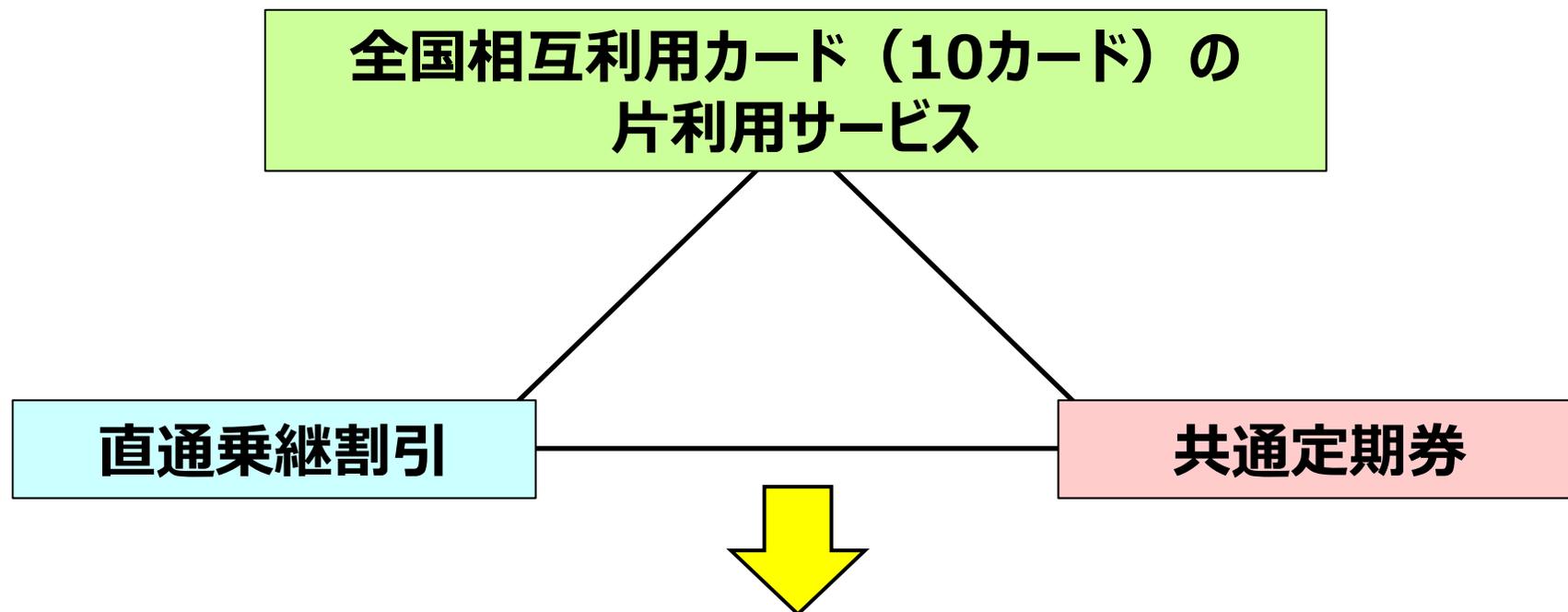
PASPYの機能向上について



公益社団法人 広島県バス協会

■ PASPYの機能向上 – 3つの施策 –

平成29年度事業として、以下の3つの機能の導入を計画しています。



これらの機能を導入することにより、

- ① 住民、来街者、訪日外国人等の、様々な利用者の利便性向上
 - ② 路線の再編による、使いやすく持続可能な公共交通網の形成
- を目指します。

■ PASPYの機能向上 – 3つの施策 –

1. 全国相互利用カード（10カード）の片利用サービス

現在、PASPYエリアでは、全国相互利用カード（以下、10カード）のうち、ICOCAの片利用のみが可能ですが、すべての10カードの片利用を可能とします。これにより、来街者や訪日外国人旅行者等の運賃支払いの弊害を取り除き、利用者の利便性向上を図ります。



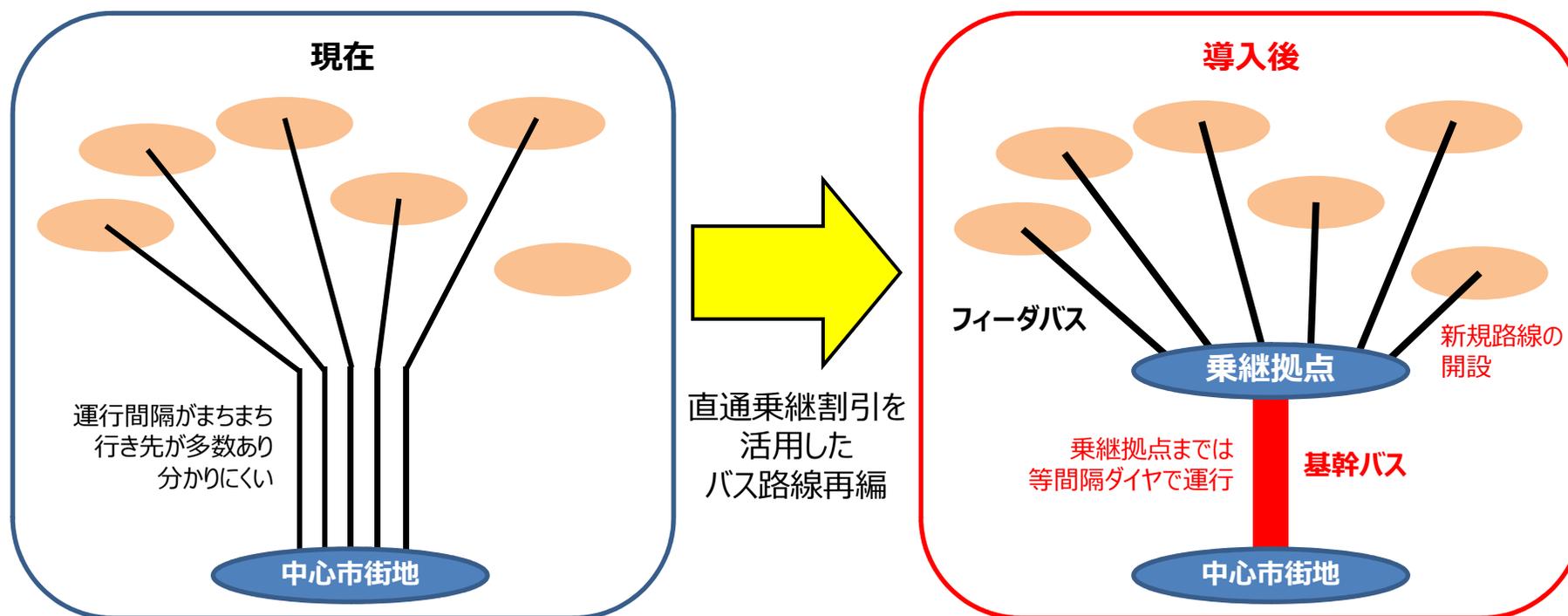
- ◆ PASPYエリアのバス、広電電車、アストラムライン、宮島・松山へのフェリー、宮島ロープウェイで使用可能。
- ◆ 電子マネー機能のあるカードでは、公共交通機関以外に、コンビニ・自動販売機等でも使用可能。

※PASPYには電子マネー機能はございません

■ PASPYの機能向上 – 3つの施策 –

2. 直通乗継割引

路線ごとに指定した乗継拠点で乗り継いだ場合に、第2乗車の運賃から割り引いて、第1乗車と第2乗車の運賃の合計を直通時と同額にし、乗り継ぎによる運賃面の負担を解消します。これにより、中心市街地と乗継拠点までの基幹バスと、乗継拠点から各エリアへのフィーダバスに役割を分担する路線再編を実現し、運行効率の向上による持続可能な公共交通網の形成と、エリア全体の利便性向上を図ります。

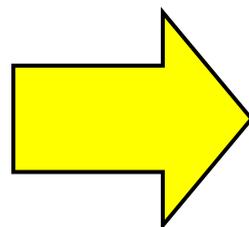
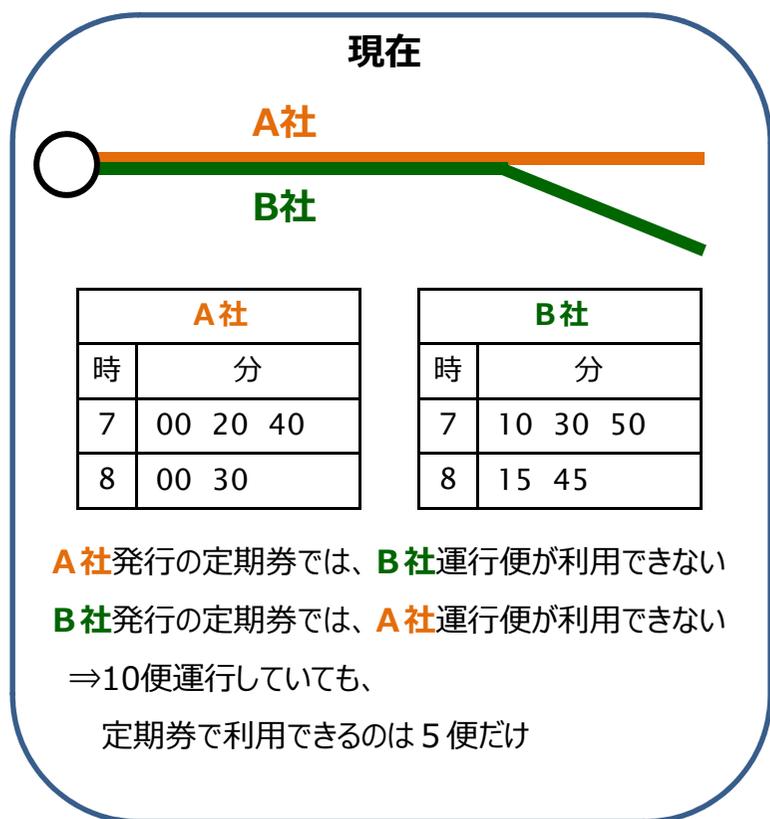


- ◆ 乗継拠点を活用したバス路線再編により、フィーダバスの増便や、新規路線の開設も可能。

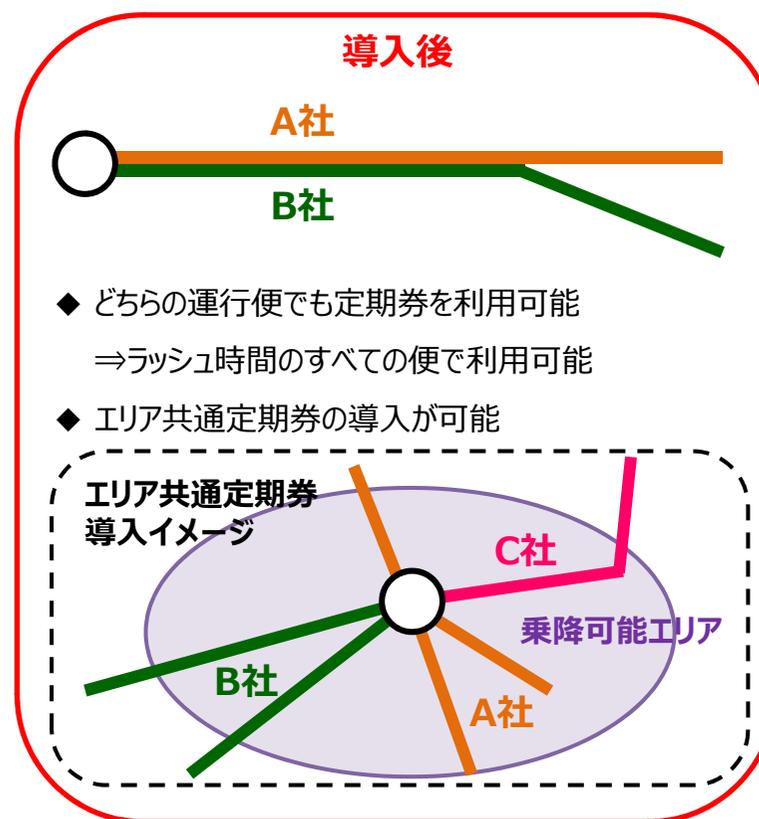
■ PASPYの機能向上 – 3つの施策 –

3. 共通定期券

現在、定期券は購入した会社でのみしか利用できないが、共通定期券を導入することで、既に発行済みの定期券を自動的に共通定期券化し、すべての会社の運行便で利用できるようにします。これにより、運行会社を問わない路線再編を実施し、持続可能な公共交通網の形成と、エリア全体の利便性向上を図ります。



共通定期券を
活用した
利便性の向上



- ◆ バス路線再編により運行会社を変更することがあっても、定期券はそのまま利用可能。